

プレスリリース

平成17年 7月 11日

株式会社ジェネティックラボ

スーパー核酸特許が日本で成立 ～ 核酸医薬開発に向けた研究を加速 ～

この度、株式会社ジェネティックラボと北海道大学薬学部薬化学講座 松田彰教授（当社取締役）が共同にて国際特許出願中の「スーパー核酸特許」が日本にて成立しましたので、お知らせいたします。

日本特許第3677510号

発明の名称 4' -チオヌクレオチド

ジェネティックラボでは、松田彰教授らのグループと医薬品創出に向けた研究開発に取り組んでおり、本特許はその成果の一部です。

本特許は近年注目されている、**siRNA** やアプタマーといった「核酸医薬」への応用が期待される「スーパー核酸」の有力候補物質「4'-チオ核酸」を対象とするものです。

核酸医薬は、次世代のバイオ医薬品として大きな脚光をあびていますが、その実用化には「生体内安定性」「薬物デリバリー」等の多くの課題を克服する必要があります。

「スーパー核酸」は「実用化に必要な機能」を核酸分子自体に付加する技術として松田教授らが提唱したものであり、多くの実用化課題をシンプルかつ、根本的に解決可能な技術として、今後の展開が大いに期待されます。

ジェネティックラボでは創薬事業として核酸医薬を目指した「スーパー核酸」のほか、松田研究室が保有する核酸誘導体技術を活用した「抗癌剤（低分子化合物）」を開発中です。

松田教授はこれまでに4つの医薬品候補化合物を臨床試験に進めた実績があり、ジェネティックラボが保有するバイオ技術と松田研究室の創薬化学を融合することにより、効率的で確度の高い創薬事業を推進してまいります。

以上